



原口 総合法律事務所

〒105-0001 東京都港区虎ノ門一丁目4番3号
KDX虎ノ門ビル 9階
Tel: 03-6205-4404 Fax: 03-6205-4405
E-mail: kharaguchi@haraguchi-law.com

所長 弁護士 原口 薫

モンゴルにおける再生可能エネルギーの活用（3）

I. はじめに

前回は述べたように、JICA は民間企業がモンゴルにおける再生エネルギー事業に参入することを支援している。その一つの取り組みとして前回は海外投融資について説明をしたが、今回は海外投融資を前提として、その初期段階である調査支援する協力準備調査（PPP インフラ事業）と、それに基づくモンゴルのフルメン風力発電事業の準備調査について紹介する。

II. 協力事前調査の概要

1. 事前調査の目的

JICA は、発展途上国のインフラ事業、とりわけ日本と発展途上国の両国の官民の協力によるインフラ事業（PPP インフラ事業）への参画を検討している日本企業からの提案に基づき、海外投融資等を活用したプロジェクトの実施を前提として、PPP インフラ事業の基本事業計画を作成し、当該提案事業の妥当性・効率性などの確認を支援している。

2. 事前調査の対象事業

事前調査の対象事業は、次の4条件を満たすPPP インフラ事業である。

- ・ 途上国の経済社会開発・復興や経済の安定に寄与する事業
- ・ 日本政府・JICA（国別援助実施方針等）・先方政府の開発計画等に沿った事業
- ・ 事業化段階で海外投融資等を活用する見込みがある事業
- ・ 建設及び運営を含む PPP インフラ事業であり、提案した当該企業が事業への投資の形で参画予定であること

3. 調査費用

JICA では、調査に必要な費用のうち、1件当たり1億5000万円を上限（消費税を含む）とする。また、国家政策上重要な位置づけにある大型インフラ事業や提案事業の性格上、

用制度の高い設計や精緻な事業予測、法制度の変更を伴う事業など、広範から詳細な情報が求められる案件については、3億円を上限として提案することができる。

Ⅲ. フルメン風力発電事業準備調査

1. SB エナジーの取り組み

SB エナジーのホームページ（海外事業）によれば、SB エナジーは、アジアにおける自然エネルギー開発を推進するため、モンゴルの Newcom 社と合弁会社クリーン・エナジー・アジアを設立し、同社は南ゴビ砂漠に計 220,000 ヘクタールの土地を確保し、世界最大規模の風力発電所の建設に向けて事業を開したとのことである。

同社の最初の事業予定地はタバントルゴイという世界最大級の石炭鉱山と、オユトルゴイという世界最大級の金、銅鉱山の間地点に位置しており、モンゴルの経済発展の要となる鉱山開発に対して、クリーンな自然エネルギーを供給することを目的としている。

2. JICA の支援

JICA のホームページによれば、JICA は SB エナジーが提案したモンゴルのフルメン風力発電事業の事前調査を 2013 年 10 月 18 日に採択した。

同調査は、SB エナジーとみずほ銀行、みずほ総合研究所、MHI プラントエンジニアリングで構成される企業体を実施する。

モンゴル・ウヌブミゴム県ハンメル地域で出力 100MW の風力発電設備を建設、運営し、国家電力系統に売電する事業の事前調査を行うものである。

JICA は、事業の必要性や実現可能性、海外投融資等の資金供与の可能性などを総合的に勘案し、採択を決定したとのことである。

Ⅳ. 結論

以上のように、モンゴルでは大気汚染の防止などの目的で、風力や太陽光などの化石燃料に代わる再生可能エネルギーの活用が盛んになっており、そのための支援制度も充実しており、今後の発展が望まれている。ただモンゴルの大気汚染の防止は、発展途上国であるモンゴルだけで実現することは困難である。そこで今回は JICA を通じた途上国における民間の事業の支援、とりわけ、海外投融資の前提となる協力準備調査（フルハン風力発電事業準備調査）について紹介した。

以 上